

新報

島根県教育庁
隠岐教育事務所
隠岐県隠岐郡佐和田町
電話2-9772

「地域とともにある学校」をめざして

海士町教育委員会が取り組んでいる教育活動の様子を紹介しします。

文部科学省では、新学習指導要領のポイントとなる「社会に開かれた教育課程」の実現に向けて、「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）」と地域学校協働活動の一体的な推進による地域と学校の連携・協働体制の構築を推進しています。海士町でも令和三年度からコミュニティ・スクール（以下CS）導入に向けて準備をしてきました。具体的には、学校運営協議会のメンバーの選り方・進め方についての

検討、CSについて理解を深めるためのCS準備検討委員会の実施などです。

今年度から本格的に取り組みが始まりました。「海士町版CS」は、多くの市町村が導入したような一つの学校に一つの運営協議会を設置していません。海士町では、小・中三校合同で「海士町小中学校運営協議会」を設置しました。各校の方針に意見を述べるといってではなく、「海士の子をどんな子に育てていきたいか」「どんな地域をつくっていきたいか。」について、学校と地域が共に考えていく場にしたと考えています。

今年度第一回目の学校

運営協議会を五月に実施しました。三つの小・中学校の経営方針や活動を皆で共有することで、よりよい学校と地域の協働を生むための準備を整えることが目的でした。

まず、参加者の中から立候補で会長、副会長が決まりました。その後、「学校PR大作戦」と題し、ポスターセッション形式で各校の教職員代表による学校目標や特色ある教育活動が紹介されました。各学校が、

- ① どういう子供を育てたいか
 - ② 今年度重点的に取り組みたい活動について
 - ③ 教職員の人材育成をどのように行っているか
 - ④ 今年度地域の方に協力してほしいこと
- を中心とした話をすると、色々な質問や意見がありました。多方面で活躍する委員の方々に学校の様子

を伝えることができ、さらなる連携に向けての一步となりました。



【委員の感想より】

○ 中学校の総合的な学習の時間が、小学校からの流れを汲んで展開されており感心した。

○ 学校の課題と地域の課題をうまく絡ませて解決していける設計図が描けると良いと思う。

【教職員の感想より】

○ 小学校の総合的な学習の時間でも「提案」→「実践」を意識していることがよく分かった。

○ 委員の方が学校と地域のつながりに期待してい

ること、協力にとても前向きであることが分かった。

第一回目には共有した学校の経営方針をもとに事務局では、育てたい「海士の子」の具体的な子供像の共通点をまとめています。また、学校運営協議会がどのような役割を担っているのか、各学校の既存組織との関わりをどうしていくのか、など

についても把握・整理し、学校と地域で情報共有していく予定です。

第二回目の学校運営協議会は十月下旬に実施予定です。それに向けて、会長・副会長・学校管理職代表（海士中学校長）・教委スタッフのメンバーでミニ会議を重ねていきます。また、これまでは教育委員会主導で司会進行を行っていましたが、次回からは会長、副会長を中心に会を進めていける

ようサポート体制を整えているところです。

第二回目のテーマを「地域の願い」としています。地域住民がどんな「海士の子」に育ててほしいか、どんな地域にしていきたいかを皆で共有する時間にしていく予定です。

「海士町版CS」は、特別なことではなく、地域と学校と一緒に「海士の子」を育てるといって、これまで培われてきた海士の文化をより高めていくものだと思っています。

CS導入により、今まで以上に誰もが学校運営に参画しやすくなることを考えられます。多くの人との関わりの中で海士の子供がよりよく育つとともに、地域づくり・人づくりにつなげていきたいと思っています。

（派遣指導主事 永原）
（派遣社会教育主事 池田）